

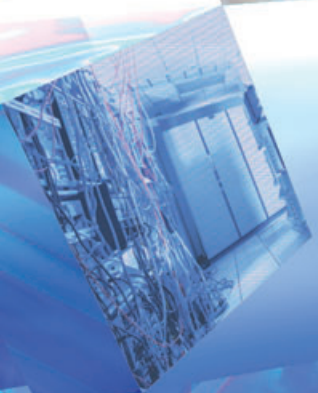
第44期 中間報告書

2010年6月1日から2010年11月30日まで

The 44th Interim Business Report

 日本プロセス株式会社
JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.

JASDAQ
証券コード：9651



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社はこの度、第44期(2011年5月期)の第2四半期を終了いたしました。昨年から続く世界的な不況により、企業のIT関連に対する投資はまだまだ慎重な姿勢が継続しております。当社においてもその影響を避けることはできず、次世代携帯電話システムの開発遅れによる要員不稼働などが発生しましたが、電力や鉄道など社会インフラ関連のシステム開発は好調に推移したため、売上はほぼ計画通りとなりました。

ここに、当中間期の業績と今後の戦略についてご報告申し上げます。



代表取締役社長
大部 仁



当期(2011年5月期)のこれまでの業績と今後の見通しについて教えてください。



日本の経済環境は、海外経済の改善や各種の政策効果などを背景に企業収益が改善し設備投資や個人消費の持ち直しが見られたものの、円高や高止まりしている失業率など、リスク要因を抱えながら緩やかに回復してきました。また、情報サービス産業界では、企業のIT投資に対する慎重な姿勢が継続し、ソフトウェア投資は緩やかな減少が続いております。

こうした中、当社グループにおきましても、メーカー各社の設備投資や情報化投資の抑制などにより、受注環境は厳しい状況が継続しています。

主な事業分野の状況についてお話しいたします。制御システム分野は、海外を含めた火力発電所向け監視・制御システム開発や自動車向け環境対応車のシステム開発の一部を受注するなど好調に推移しました。交通システム分野は、既存システムのリプレースや延伸対応による新幹線と東京圏輸送の運行管理システムの開発が堅調に推移しました。特定情報システム分野は、画像処理や音声検索関係のシステム開発などが堅調に推移しています。これらの堅調な分野に重点的に人材を配置することで、受注拡大に努めてまいりました。

一方、組込システム分野では、半導体関連やスマートフォンの開発を受注したものの、次世代携帯電話システムの開発

開始遅れによる要員の不稼働が発生しました。産業・公共システム分野は、基本設計支援業務は横ばいで推移しましたが、コンテンツ管理製品の開発が低調の上、不採算プロジェクトも発生しました。ITサービス分野は、コールセンター業務と検証業務は横ばいで推移しましたが、システム構築業務や金融機関向けシステム開発・保守業務の作業量が減少しました。

これらの結果、売上はほぼ計画値となりましたが、利益は計画未達となりました。

今期の見通しについては、案件の大型化や派遣型業務の請負化などを戦略的に推進した結果、検収までの期間が長期化しているため売上の計上が遅れる傾向にあります。予算達成に向けて努力してまいります。



これからの注目分野と 今期の取組みについてお聞かせください。



まず、中期的な事業拡大分野としましては、3つの分野を考えています。1つめは、これまで実績のある様々な画像処理技術を、例えば医療や危機管理などさらに高度な画像利用分野に拡大することです。2つめは、現在も取組んでいる鉄道の運行管理や駅務機器からその周辺の情報系分野、例えば車内電子広告などの開発へ業務拡大することです。3つめとして、新興国におけるインフラ整備と環境問題の解決策の一つとしての期待も大きいスマートグリッドは、発電や送配電から利用分野まで当社の強みを活かしていける分野として取組んでまいります。

2011年5月期の重点施策としまして、「営業強化」、「事業運営の効率化」、「人材採用」、「人材育成」を掲げています。

「営業強化」につきましては、第三、第四の柱となる新規顧客の開拓を行うとともに、既存顧客の受託分野拡大を目指します。「事業運営の効率化」につきましては、子会社の吸収合併によりマネジメントを効率化し、さらに技術・製品分野による事業部制に組織改編し、意思決定の迅速化や人材及び技術の効率的な活用と管理コストの削減を図っています。

現在の不況期は優秀な人材を確保するチャンスと考えており、「人材採用」は将来への投資として惜しまず行います。また、新人を含めた「人材育成」につきましては、今後も計画的に進めていき、社員の技術やプロジェクトマネジメントのスキルアップを図ってまいります。




最後に、株主の皆さまへメッセージをお願いします。



当社では、株主に対する利益還元を経営の重要指針として位置付けており、安定的な配当の継続と配当性向50%以上の配当を基本方針としております。当中間配当につきましても、一株当たり15円とし、年間配当は30円を予定しております。

今後も、緩やかながらでも継続的に成長し、「地味だけれども社会に意義深い、きらりと光る企業」を目指して、全社一丸となり取組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



ソフトウェア技術と品質で、
『社会の安全、安心、便利』
に貢献します。

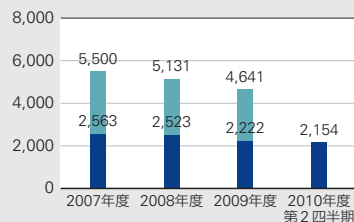
当第2四半期決算のポイント1

受注状況については、電力や鉄道など社会インフラ関連のシステム開発は安定して受注が拡大し、自動車向けの制御システムや組込システムの開発も前年同期間の低迷からは回復しましたが、その他のシステム開発や情報サービスの回復は遅れております。また、案件の大型化や派遣型業務の請負化などを戦略的に推進した結果、検収までの期間が長期化しているため売上としての計上は遅れる傾向にあります。この結果、売上高は2,154百万円、営業損失は15百万円、経常利益は4百万円、四半期純損失は14百万円となりました。

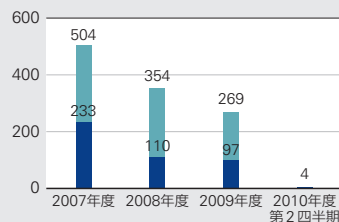
当第2四半期決算のポイント2

総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて179百万円減少して8,549百万円となりました。これは、有価証券が600百万円、仕掛高が138百万円増加したのに対し、現金及び預金が889百万円減少したこと等によります。
負債につきましては、前連結会計年度末に比べて81百万円減少して、574百万円となりました。これは、未払法人税等が減少したこと等によります。
純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて98百万円減少して、7,975百万円となりました。これは、配当金の支払い等によります。

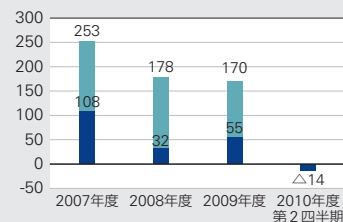
売上高 (単位：百万円)



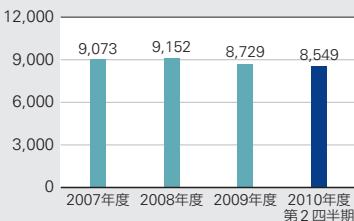
経常利益 (単位：百万円)



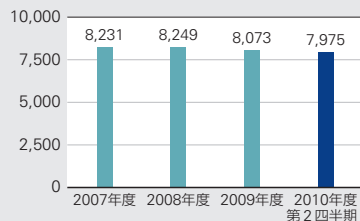
四半期(当期)純利益 (単位：百万円)



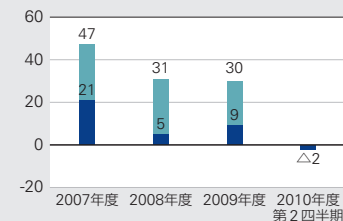
総資産 (単位：百万円)



純資産 (単位：百万円)



1株当たり四半期(当期)純利益 (単位：円)



■ 通期 ■ 第2四半期

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第2四半期 2010年11月30日現在	前期末 2010年5月31日現在
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,410,435	4,299,747
受取手形及び売掛金	1,445,745	1,533,576
その他	2,171,083	1,372,530
流動資産合計	7,027,264	7,205,855
固定資産		
有形固定資産	265,032	266,365
無形固定資産	99,378	116,461
投資その他の資産	1,157,586	1,140,390
固定資産合計	1,521,996	1,523,217
資産合計	8,549,261	8,729,072
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,572	34,237
その他	492,797	576,018
流動負債合計	523,369	610,255
固定負債		
固定負債合計	50,724	45,413
負債合計	574,094	655,669
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,325,847	2,325,847
利益剰余金	4,337,998	4,435,266
自己株式	△ 175,248	△ 175,174
株主資本合計	7,976,007	8,073,349
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△ 840	53
評価・換算差額等合計	△ 840	53
純資産合計	7,975,166	8,073,403
負債純資産合計	8,549,261	8,729,072

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 2010年6月1日から 2010年11月30日まで	前第2四半期 2009年6月1日から 2009年11月30日まで
売上高	2,154,648	2,222,403
売上原価	1,779,334	1,784,301
売上総利益	375,314	438,101
販売費及び一般管理費	390,548	357,186
営業利益又は営業損失(△)	△ 15,234	80,915
営業外収益	19,984	20,103
営業外費用	—	3,380
経常利益	4,750	97,639
特別利益	377	17,210
特別損失	10,662	1,296
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 5,535	113,553
法人税、住民税及び事業税	9,478	35,139
法人税等調整額	△ 922	22,476
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 14,090	55,936

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 2010年6月1日から 2010年11月30日まで	前第2四半期 2009年6月1日から 2009年11月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 187,204	△ 10,412
投資活動によるキャッシュ・フロー	149,639	△ 96,010
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 82,980	△ 140,192
現金及び現金同等物の増減額	△ 120,545	△ 246,615
現金及び現金同等物の期首残高	1,510,981	2,471,209
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,390,435	2,224,594

私たちの仕事は、「製品」や「システム」を創ることはありません。

ソフトウェアエンジニアリング技術を通し、それらの製品やシステムを「より安全に、より使いやすくすること」が私たちの仕事であり、誇りです。



会社概要 (2010年11月30日現在)

会社名	日本プロセス株式会社 (JAPAN PROCESS DEVELOPMENT CO.,LTD.) 略称 JPD
本店	〒105-6126 東京都港区浜松町二丁目4番1号 世界貿易センタービル26F TEL 03-5408-3351(代表) FAX 03-5408-3289 URL http://www.jpdc.co.jp/
設立	昭和42年(1967年)6月
事業内容	システム・インテグレーション及びソフトウェア開発
資本金	14億8,740万円
従業員(単体)	516名
取引銀行	三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行

株式の状況 (2010年11月30日現在)

発行可能株式総数	22,980,000 株
発行済株式の総数	5,745,184 株
株主数	627 名
大株主	

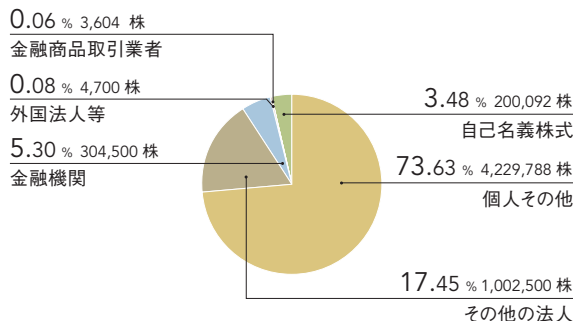
大株主	持株数(株)	持株比率(%)
SBI Value Up Fund 1号投資事業有限責任組合	933,500	16.83
大部 満里子	624,470	11.26
大部 仁	549,823	9.91
大部 力	545,094	9.83
日本プロセス社員持株会	408,200	7.36
吉川 齡彦	377,011	6.79
小泉 修	365,011	6.58
第一生命保険株式会社	223,000	4.02
萩野 正彦	221,824	4.00
白川 一幸	177,000	3.19

(注) 持株比率は自己株式(200,092株)を控除して計算しております。

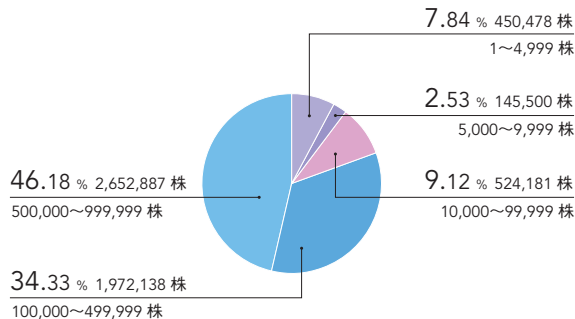
役員 (2010年11月30日現在)

代表取締役社長	大部 仁
代表取締役副社長	上石 芳昭
取締役	奥山 一幸
取締役	多田 俊郎
取締役	久保 裕
取締役(社外)	諸星 信也
取締役(社外)	千葉 拓
常勤監査役	白川 一幸
監査役(社外)	川上 弘
監査役(社外)	椎名 健二

所有者別株式分布状況 (2010年11月30日現在)



所有株数別株式分布状況 (2010年11月30日現在)



株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月開催
基準日	定時株主総会 毎年 5月31日 期末配当 毎年 5月31日 中間配当 毎年 11月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ 公告して定めた日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社
事務取扱場所 (郵便物送付先)	証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) (住所変更等用紙のご請求) 0120-175-417
(その他のご照会) 0120-176-417

(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
同取次所 住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
公告方法 当社のホームページに掲載する。
<http://www.jpdc.co.jp/koukoku.html>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

貸借対照表及び
損益計算書の掲載URL <http://www.jpdc.co.jp/forinvestor/index.html>
上場金融商品取引所 株式会社大阪証券取引所 JASDAQ市場

HPのご案内

<http://www.jpdc.co.jp/>

当社に関する最新動向や情報をお伝えしております。
ぜひ、ご覧ください。



株主の皆さまの声を聞かせください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9651

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、**いいかぶ**と4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本報告書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます。



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900 (平日10:00~17:30) 「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

